

事例6:様々な節電対策

富士宮市:C社

分野:工場
業種:製造業

対策の着眼点

節電要請（15%削減）を実現することを目標として、大きなコストをかけずに対策を実施した。

節電実績

平成22年度比16.8%の削減達成

具体的な取組内容

様々な取組

- 蛍光灯間引き（約30%の照明で実施）
- エアコン設定温度調整（26℃で使用⇒28℃に設定）
- 乾燥機使用削減（天日乾燥）
- コンプレッサー建屋の遮熱塗装
- 天井のサーキュレーターの稼働停止
（稼働していると、上部の熱気が下りてくるため冷房効率が低下する。）
- 窓ガラスへの遮熱フィルム貼付
- 設備待機電力削減（帰宅時に完全停止）
- 電力デマンド装置による監視
- コンプレッサーの稼働効率を最適化するため、タイマー稼働を行い、余分な稼働を抑える。

苦労した点

- 従業員の節電意識の向上、継続
平成23年は東日本大震災の報道等が影響し、節電意識の助けとなったと考える。

今後の課題、目標

- ◎東京電力が17%値上げを行うため、これを相殺する取組を行いたい。
- ◎今回はコストを要しない取組が主であったが、更なる節電対策には新たな取組が必要と考える。